

柳井医療センター だより

令和7年 1月

〈発行所〉
国立病院機構
柳井医療センター
〈発行責任者〉
宮地 隆史

2025年新年のご挨拶 国立病院機構柳井医療センター 院長 宮地 隆史

新年あけましておめでとうございます。
新しい年を迎えるにあたりご挨拶させていただきます。

昨年は1月1日に能登半島地震が発生し、その後も多くの災害がありました。災害大国の我が国では常に自分事として災害対策をしなければならないと思いを新たにすることとなった一年でした。当院ではこれまでも柳井健康福祉センターや各自治体等とともに難病患者を中心に災害対策に取り組んで参りました。今年も病院内外での災害対策の充実など推し進めていきたいと思えます。

2025年は被爆80周年の年です。当院の成り立ちは1945年8月に被爆した広島第一陸軍病院等が柳井の地に移転し同年厚生省に移管したことに始まり当院も80周年を迎えます。当院には広島の病院の被爆カルテや被爆後の柳井の地での診療を記したカルテが保管されております。当時の医療史実を後世に残し、平和を考えていくためにも今後の管理について検討して参る年にしたいと思っております。

また2025年は人口問題でも節目の年になります。御存知のとおり、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となり、少子高齢化に拍車がかかります。医療・介護の働き手不足の問題が深刻となります。今後、第二次ベビーブームに生まれた団塊ジュニア世代が65歳以上となる2040年問題にむけてどのように地域医療・福祉を考えていくかが重要になって参ります。

当院では引き続き、一般脳神経疾患、難病診療分野別拠点病院として神経・筋難病疾患、地域型認知症疾患医療センターとして認知機能障害疾患、腹部救急、慢性腎臓病（CKD）啓発、血液・腹膜透析疾患、重症心身障害児（者）に対する医療および地域から求められる医療を推進して参りますので、本年もどうぞよろしくお願いたします。



理 念

- 一 良質の医療を提供します
- 一 素晴らしい療養環境を提供します
- 一 患者満足度の向上に努めます
- 一 職員満足度の向上に努めます



第78回 国立病院総合医学会 参加報告

令和6年10月18日～19日 グランキューブ大阪にて、第78回国立病院総合医学会が開催されました。この医学会は、毎年国立病院が全国の担当地区で行います。さまざまな講演やシンポジウム、ディスカッションが行われ、今年度は約6,300人の参加が報告されています。当院からも1名が口演発表、4名がポスター発表いたしました。



鵜呑みにしていませんか？ ～食べられる可能性を見逃さないで～

リハビリテーション科 言語聴覚士 林 純子

この度、第78回国立病院総合医学会にて発表を行ってきました。なんだこの演題名は？と思われたかもしれませんがこれには理由があります！！インパクトのある演題名で他の先生の目に留まってほしいというのが一番の理由です(笑)臨床場面で、患者さんの情報紙を見て先入観にとらわれていませんか？今の患者さんの状態を自分の目で直接診て・直接聴きかけていますか？という事を、インパクトのある演題名で一人でも多くの先生に私の発表を聴いてほしいという思いで考えました！この度の発表で学んだ事を患者さんの為に生かし、今後も発表を通じて私自身もっと学んでいけたらと思います。

柳井医療圏域のタクシー会社に勤務する乗務員を対象とした認知症等の認識度調査

地域医療連携室 医療社会事業専門員 藤本 雅子

大阪で開催された第78回国立病院総合医学会に参加し、タクシーの乗務員を対象とした認知症等の認識度調査の結果に関する内容をポスター発表させていただきましたが、発表前の緊張は何年経っても変わらないもので…。関心ある会場を転々と移動しながら、多職種による積極的な意見交換・情報共有から学ばせていただき、久々の国病学会を楽しむことができました。ご協力いただきました皆様ありがとうございました。



ALS患者とのコミュニケーション向上の為の質的研究 ～意思疎通困難時に看護師の抱える 精神的負担の軽減に向けてのアプローチ～

看護師 5階病棟 石光 渡

5階病棟では、多くの神経難病患者が入院されています。その中でも、筋萎縮性側索硬化症（以下ALS）患者とのコミュニケーションに着目したのは、私自身のALS患者への看護に困難を感じた経験からでした。ALS患者は、構音障害に伴うコミュニケーション障害をきたすことがほとんどで対応する看護師にも大きな負担がかかります。その精神的負担を軽減の為に何が重要であるかを分析し、その結果をポスターで発表させていただきました。多くの方がポスターの前に立ち止まり、時には写真を撮って下さったりしている所を見ると、困難に向かっているのは私達だけではないと実感することができました。今後も学会等に参加し他施設と情報交換することで、当院の看護に活かして行きたいを思います。



長期臥床患者の頭皮の状態を低刺激な洗浄方法で整える ～ナノミストシャワーヘッドを 使用した低刺激な洗浄方法を考える～



看護師 2階病棟 依田 麗奈

透析患者の転倒予防への取り組み

～下肢筋力とバランス能力の維持・向上を目指して～

看護師 3階病棟 桂 崇子

第10回 柳井医療センター公開講座開催

柳井医療センター



令和6年11月9日(土) 山口県大島防災センターにて第10回柳井医療センター公開講座が開催されました。

講座ははじめに藤本浄孝周防大島町長からご挨拶を賜り、当院の職員(医師3名・看護師1名)が第1部で透析について、第2部で脳神経内科疾患や認知症について講演を行いました。参加者のなかには、メモをとりながら聞き入る方もおられ、健康に対する意識の高さがうかがえました。最終的には、好天にも恵まれ100名近

くの参加があり、盛会のうちに幕を閉じることができました。

令和7年も秋頃、開催予定としておりますのでぜひお越しください。



消防訓練



令和7年1月1日、新年の門出を迎えるとともに、大きな被害をもたらした能登半島地震からちょうど1年が経過しました。

この1年を振り返り、改めて災害時における迅速かつ的確な対応の重要性を痛感し、訓練の必要性を再認識しています。

当院では昨年11月中旬に防火訓練を実施しました。訓練当日は、夜間時

に2階病棟で火災が発生したとの想定のもとで行われました。

限られた人数かつ緊迫した状況下での迅速な対応は非常に難しく感じましたが、この訓練を通じて災害対策への意識を一層高め、今後の備えを強化していきます。



看護師募集

※詳しくはこちら→



新人さんももちろんOK!

- ・地元で勤務したい
- ・卒業後の進路を迷っている

わたしたちと一緒に働いてくれる
中途採用・経験者を募集しています!

充実
サポート

- ・支援体制
- ・技術研修
- ・ワークライフバランス

技術研修



大歓迎

- ・Uターン希望(地元勤務希望)
- ・同級生、親戚、知人等で転職検討中
- ・看護師免許を持って、他業種で勤務
- ・臨床看護師としてスキルアップを目指したい
- ・難病や透析看護に興味がある
- ・結婚、子育て等で職務から離れ、復帰を考えている

〒742-1325
山口県柳井市伊保庄 95
電話 0820-27-0211 (内線 322)
管理課 庶務係長まで
ご連絡お待ちしております



地域医療連携室コーナー

新たに筋萎縮性側索 硬化症(ALS)治療薬が はじまりました

多くのALSの患者さん・ご家族にとって
待ち望んでいた新薬「ロゼバラミン」が昨
年末から当院ALS患者さんに投与が始まり
ました。約9年ぶりとなる新薬の誕生を待



ち望んでいた患者さん達は非常に喜ばれておりました。4つ目
の治療薬となる「ロゼバラミン」は高用量のビタミンB12を定
期的に注射するもので発症早期の患者さんにおいては症状の進
行を抑制する効果が期待されています。治療を開始された患者
さんたちはほぼ訪問看護ステーションにご協力いただいて注射
を行っていただいています。

今後も地域の関係機関と連携を図りながら患者さんが希望す
る治療が行えるよう支援していければと思います。

本年もどうぞよろしくお願いたします。

認知症疾患医療センターコーナー

認知症の方が地域で生活を行うための憩いの場として『認知症カフェ』という場がある事をご存知ですか？

2024年12月21日に第6回山口県認知症カフェサミットが開催されました。当日はやまぐち希望大使の動画上映、全国認知症本人大使・とうきょう認知症希望大使のお二人をお招きした座談会、基調講演、活動紹介・グループディスカッションがありました。

厚生労働省によると認知症の有病率は2022年443万人、2025年には471万人と予測されています。以前は2025年には675万人と予測されていましたが、嬉しいことに大幅な修正となりました。減少に至った背景には、生活習慣病への取り組みや対策、健康に関する情報や教育の普及などから健康に対する意識の向上や、新たに多くの社会資源ができてきていることなどを基調講演して下さった先生がお話されました。認知症カフェもその新たな社会資源の一つです。

『認知症カフェ』は、1997(平成9)年にオランダでオランダアルツハイマー協会と臨床老年心理学者ベレ・ミーセンが協力して始めたことが最初だそうです。

日本では、認知症カフェ、オレンジカフェ、もの忘れカフェなど様々な呼び名があり、市町村・地域包括支援センターや介護施設、認知症の家族会など様々な設置母体となっています。参加者は、認知症の診断前から参加が可能で、認知症の当事者、家族(介護者)、地域の関心がある方や専門職、すなわち全ての人(誰も)が参加可能であることも伝えられました。

やまぐち希望大使の動画の中で「カフェふしの(県内の認知症カフェ)が大好きです」と話されているときのNさんの生き生きとした表情がとても印象的でした。当センター1市4町それぞれが1時間半~2時間の認知症カフェを開催しております。同じ地域内にもいくつかの認知症カフェが設けられているところもありそれぞれのコンセプトがあります。

皆様もお住まいの認知症カフェを覗いてみてはいかがでしょうか。

参考：ウィキペディア フリー百科事典 認知症カフェ
厚生労働省「認知症および軽度認知障害(MCI)の高齢者数と有病率の将来推計」

本年もどうぞよろしくお願いたします

認知症疾患医療センタースタッフ一同
令和7年1月

病院の統計

一般病床204床、療養介護病床76床

【紹介率】 単位：%

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計平均
R5	88.8	79.8	80.0	92.9	82.8	92.4	86.1	82.6	92.0	91.3	81.2	87.8	83.6
R6	87.9	87.0	78.7	82.0	82.9	78.0	82.0	74.7					86.1

年月	当院平均 患者数(人)			紹介患者数(人)
	一般	療養介護	外来	
R5.11	188.8	74.8	67.0	66
R6.11	189.8	74.6	61.5	70

外来診療担当表

内 科		月	火	水	木	金	備考
脳神経内科	初診	宮地 隆史	松本 信夫	-	松本 信夫	松本 信夫	要予約
		今村 栄次	福場 浩正	西川 智和	山崎 雅美	山本優美子(隔週)	
	再診	西川 智和	山本優美子	宮地 隆史	宮地 隆史	福場 浩正	要予約
		福場 浩正	-	今村 栄次	西川 智和	山崎 雅美	
				山本 史佳			
外 科	初診	森内 俊行	竹本 将彦	住元 了	松岡 功治	松本 富夫	火・木曜日 午後手術日
	再診	田所 剛志	田所 剛志	-	住元 了	-	
		竹本 将彦	松本 富夫	-	竹本 将彦	松岡 功治	
		-	-	-	-	森内 俊行	
腎臓内科					福田 雅道		第3週
					藤野 修		第1・2・4週
整形外科			(隔週) 安岐 智史 加藤 慶		武田 光司		
循環器内科	宮本 翔伍		小栗 直人				
呼吸器内科		川本 数真				渡 直和	
肝・胆・膵・消化器科	大野 淳司						
糖尿病・内分泌内科							
内 視 鏡		松本 信夫		松本 信夫		第1-3週 松岡 功治	要予約
		松岡 功治		松岡 功治		第2-4週 山根 大寛	
皮膚科		(隔週) 松原 大樹 岸 佳苗					
泌尿器科	(隔週) 岩根 亨輔 志熊 紘行						午後のみ

は招聘医師

令和7年1月1日現在

腹部救急診療

24時間365日体制で診療しています。

対象患者

激しい腹痛、心窩部痛、側腹部痛、腰痛、肛門会陰部痛、鼠径部痛、下血症例



救急担当医は次のようになります。(※時間外の体制)

	月	火	水	木	金	土	日
担当医	田所	松岡	松本(富)	竹本	当番外科医	当番外科医	当番外科医

※消化器外科医が病院内に24時間365日常駐しています。

CT・MRIの検査予約を受付けています

当院では、CT及びMRIの検査予約を行っています。下記の連絡先に予約を申し込んでください。放射線専門医による読影結果はFAX及び郵送にてお届け致します。撮影画像はCD-Rで患者様にお渡し又は郵送致します。(至急依頼の場合の検査報告は検査後2時間ほどで出ますのでFAX後、郵送致します。)

CT・MRIの予約受付先

国立病院機構柳井医療センター放射線科受付
担当者 山本(やまもと)

電話:0820-27-0211 内線538または229

※なお、FAXでの申し込み及びその他の診療予約については地域医療連携室へ申し込んでください

